

2013年夏休み(7月15日～8月31日)の旅行動向

国内旅行が牽引し、 総旅行人数および総旅行消費額が過去最高*

- 国内旅行は 7,624 万人(前年比+2.2%) で過去最高
- 海外旅行は 260 万人(同▲5.8%)。東南アジアやヨーロッパが人気
- 旅行平均費用は国内・海外共に上昇

*調査比較できる 2000 年以降

JTBは、「夏休み(7月15日～8月31日)に、1泊以上の旅行に出かける人」の旅行動向の見通しをまとめた。

この調査は、航空会社の予約状況、1,200人から回答を得た旅行動向アンケート、JTBグループの販売状況、業界動向から推計したもの。1969年に調査を開始して以来、今年で45回目となる。調査結果は以下のとおり。

(表1)2013年夏休みの旅行動向数値

	2013年夏休み			2012年夏休み	
	推計値	前年比	前年増減	実績推計	前年比
総旅行人数	7,884万人	+1.9%	+ 148万人	7,736万人	+2.8%
国内旅行人数	7,624万人	+2.2%	+ 164万人	7,460万人	+2.7%
海外旅行人数	260万人	▲5.8%	▲ 16万人	276万人	+6.2%
国内旅行平均費用	35,010円	+3.8%	+ 1,280円	33,730円	+1.4%
海外旅行平均費用	243,200円	+5.1%	+11,800円	231,400円	+1.8%
総旅行消費額	3兆3,016億円	+4.7%	+1,470億円	3兆1,546億円	+4.9%
国内旅行消費額	2兆6,693億円	+6.1%	+1,533億円	2兆5,160億円	+4.1%
海外旅行消費額	6,323億円	▲1.0%	▲ 63億円	6,386億円	+8.1%

- * 旅行人数は、延べ人数数値。平均費用は一人1回あたりの費用
- * 国内旅行人数は宿泊を伴う旅行者の人数(観光および帰省目的の旅行に限る)
海外旅行人数は出国者数(業務目的の旅行を含む)
- * 国内旅行平均費用は、交通費・宿泊費・土産代・食費等の旅行中の諸費用を含む
- * 海外旅行平均費用は、燃油サーチャージ含む。旅行先での土産代等の現地支払費用は除く

< 2013年夏休み(7月15日～8月31日)の旅行の特徴 > ()内の数値は前年比

総旅行人数・総旅行消費額が過去最高 旅行人数は国内が過去最高を予測 海外は昨年より減少 旅行平均費用は国内・海外共に上昇

東日本大震災の影響から回復を見せた昨年は、国内旅行、海外旅行ともに過去最高を記録した。今年も昨年に引き続き国内旅行が好調と見られ、2013年夏の国内旅行者数は7,624万人(前年比+2.2%)となり、調査対象期間を7月15日～8月31日に変更した2000年以降、最高を更新すると期待できる。

海外旅行の旅行者数は260万人(前年比 5.8%)で、円高の追い風を受けた昨年には届かないものの、2011年に並ぶ高い水準となる見込み。

旅行平均費用は、比較的遠距離の旅行先が人気であることから、国内旅行、海外旅行ともに上昇傾向にある。総旅行人数・総旅行消費額は、国内旅行の牽引により2000年以降、過去最高となる見通し。

今回実施した消費者アンケートの「旅行消費意欲」に対する意向をみても、「旅行の支出を増やしたい」が16.6%と前年同期比で0.2ポイント増加し、「支出を減らしたい」が24.8%と同2.1ポイント減少しており、引き続き旅行消費への意向は強いといえる(表2)。

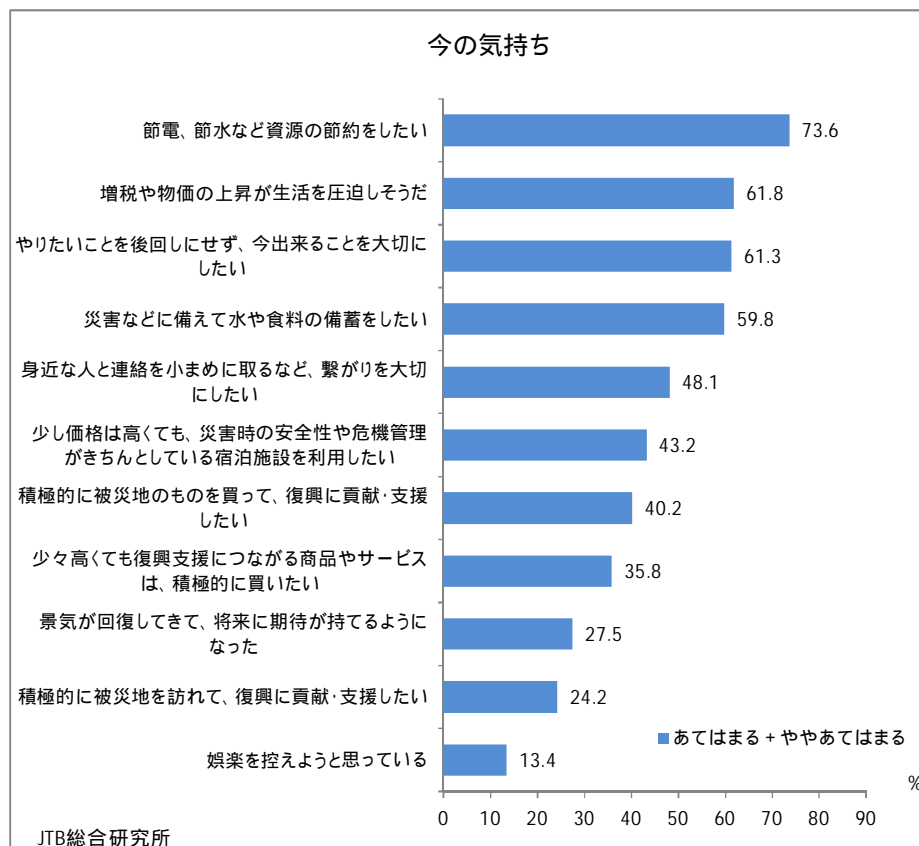
(表2)今後の旅行支出に対する意向の変化 (調査月ベース)

()は前回との差

	今回(2013年6月)	前回(2012年6月)	前々回(2011年6月)
支出を増やしたい	16.6 (+0.2)	16.4 (+2.2)	14.2 (+0.3)
同 程 度	回数を増やし単価を減らしたい	13.3 (+1.1)	12.2 (0.3)
	回数を減らし単価を増やしたい	6.3 (+1.9)	4.4 (1.4)
	回数も単価も同程度	34.5 (2.8)	37.3 (+2.5)
支出を減らしたい	24.8 (2.1)	26.9 (3.3)	30.2 (+1.5)

図1は、2013年5月にJTB総合研究所が実施した、「東日本大震災後の生活行動や消費の変化と東北旅行に関する調査」の結果である。生活者の「今の気持ち」としては、「増税や物価の上昇が生活を圧迫しそうだ」と共に「やりたいことを後回しにせず、今できることを大切にしたい」という意識が高く表れた。

図1 生活者の「今の気持ち」



JTB総合研究所「東日本大震災後の生活行動や消費の変化と東北旅行に関する調査」(2013年5月)

国内旅行 旅行日数は2泊3日、3泊4日が増加

アンケートでは、回答者の旅行日数は平均で2.2日。前年と比較すると0.24日減少した。今年は2泊3日、3泊4日が増加する一方で、5泊6日と8泊以上が減少した(表3)。節電や子供の環境を意識し、長期で家を離れる滞在型の動きは震災直後ほどではない。

(表3)夏の国内旅行日数

	%	昨年差
1泊2日	37.9	0.5
2泊3日	34.4	1.4
3泊4日	14.8	2.5
4泊5日	4.2	0.2
5泊6日	3.0	2.1
6泊7日	1.2	0.5
7泊8日	2.3	0.3
8泊以上	1.1	1.8

旅行平均回数は減少傾向 「2回」の回答者が増加

表4は本調査における今年の夏の旅行回数の意向の推移を示したものである。2012年夏は2回が18.8% (2011年 15.1%)、3回が3.5% (同 1.6%)、4回が1.9% (同 0.7%)と2回以上の旅行回数が大きく増加した。2013年は平均回数が2012年より0.04回減少し、「2回」の回答のみ増加した。旅行平均費用は上がるものの、回数は抑える傾向にあるようだ。

(表4) 今年の夏の旅行回数(意向)と前年の旅行回数(実績) 単位: %

	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	2008年
1回	75.2	75.6	82.4	75.4	77.4	80.7
2回	21.8	18.8	15.1	20.7	18.9	17.3
3回	2.3	3.5	1.6	3.1	2.2	1.2
4回以上	0.5	1.9	0.7	0.7	1.2	0.7
無回答	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	-
平均回数(回)	1.279	1.315	1.204	1.289	1.271	1.220

旅行意欲の高い熟年層に牽引され、三世代旅行が増加

アンケートの「今年の夏の旅行の同行者」では、三世代や家族と友人・知人などのグループが増加した(表5)。シニアの消費が活性化していることにより、三世代旅行が増加すると予想される。

(表5) 夏の旅行の同行者

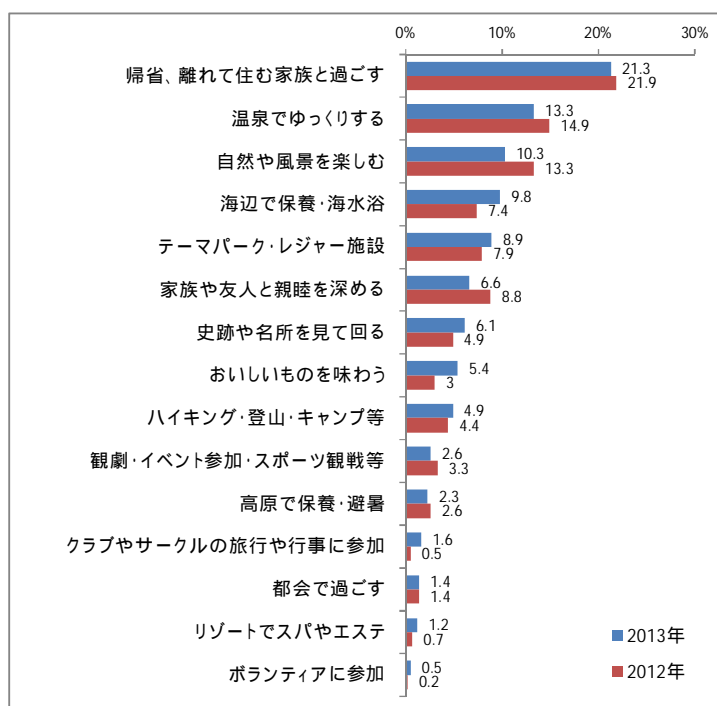
	%	昨年差
家族づれ	65.2	1.0
子供づれ(中学生まで)	28.3	4.8
夫婦のみ	17.3	0.2
三世代	11.9	5.9
それ以外(母と娘など)	7.7	2.3
家族と友人・知人	9.8	2.1
友人・知人	13.3	1.6
団体(職場・地域など)	2.3	0.7
ひとり	5.4	1.3

< 国内旅行の特徴 >

今年は海への旅行が人気 震災後の「海より山」から、「山より海」へ

今回実施したアンケートの「今年の夏の生活や旅行についての意識」についての設問で、旅行目的をみると、「海辺で保養・海水浴」が 9.8% (前年比 + 32.4%) と増加しており(図2)、東日本大震災後に減少傾向だった海水浴目的の旅行が回復していることがうかがえる。

図2 今年の夏の旅行目的



富士山の世界遺産登録で周辺エリアに活気

6月に世界遺産登録が決定した富士山は、メディアでの露出も増え、注目が集まっている。富士山だけではなく、その周辺エリア(富士五湖、伊豆など)にも波及効果が見込まれる。

LCC の浸透により、飛行機の利用割合が増加

アンケートの「今年の夏の旅行の利用交通機関」では、飛行機が 19.9%と昨年より 2.7%増加した(表6)。ゴールデンウィークの LCC 利用者は約19万5千人(航空機利用者の 5.8%)であった。それ以降も、ピーチ・アビエーションの関西-石垣、ジェットスター・ジャパンの名古屋-福岡・札幌など LCC の新規路線就航が相次いでおり、帰省も含め、飛行機の利用が増えていると考えられる。

(表6) 夏の旅行の利用交通機関

	%	昨年差
乗用車	64.0	0.6
鉄道	26.2	0.6
JR 新幹線	16.2	1.0
JR 在来線・私鉄	15.5	0.5
飛行機	19.9	2.7
長距離バス・貸切バス	8.2	0.4
フェリー・船舶	2.3	1.2
その他	0.5	0.3

「遷宮」人気で伊勢志摩、出雲が引き続き好調

今年「遷宮」の年を迎えた伊勢神宮、出雲大社は引き続き人気となっている。7月に遷宮の主要行事である「お白石持ち」が行われる伊勢だけでなく、5月に主要行事が終わった出雲大社の人気も衰えていない。

昨年に引き続き、東京の人気が根強い

開業1周年を迎えた東京スカイツリー、開業30周年の東京ディズニーリゾート など話題が多い東京が昨夏に引き続き、人気を集めている。

出発ピークは8月10日～12日

JTBの企画商品の予約状況によると、国内旅行の出発ピークは、8月10日(土)～8月12日(月)と見込まれる。

< 海外旅行の特徴 >

東南アジア、ヨーロッパが人気

今年の夏の海外旅行は、中国・韓国は低調だが、アジアの中でも比較的遠距離にあるタイ、マレーシア、カンボジア、ベトナムなどに人気が集まっている。座席供給数の増加や世界遺産及びリゾートを両方楽しめることから、家族や女性グループなど幅広く支持されている。家族連れに引き続き人気のハワイも堅調である。フランス、イタリアや、昨年のオリンピック開催で注目が高まったイギリスなどヨーロッパも好調で、旅行平均費用は増加見込みだ。

為替レートは円安傾向にあるものの、燃油サーチャージは減額

2012年末より実施された経済政策の影響で円安が進んだ。為替レートは主に現地での消費に影響を与え、旅行へ行くかどうかの意思決定への影響は大きくないものの、昨年ほど海外旅行への追い風とはなっていないと考えられる。

一方、燃油サーチャージは昨年に比べ減額となっており、8月発券分では、ハワイで1人往復27,000円(昨年より3,000円)、欧州では往復42,000円(昨年より5,000円)となる。

(表7)各年6月末現在の各国通貨レート(単位:円)

	13年	12年	11年	10年	09年	07年
米ドル	99.59	80.31	82.02	90.32	97.01	124.26
ユーロ	130.03	100.24	117.79	112.17	137.03	167.14
英ポンド	154.3	127.12	133.54	138.55	163.54	250.88
韓国ウォン	8.82	7.08	7.72	7.66	7.71	13.52
中国元	16.35	12.95	12.92	13.17	14.01	--

資料:東京外国為替相場/T.T.Selling(三菱東京UFJ銀行調べ)

(表8)8月の燃油サーチャージ額の推移(日本航空の場合、往復、単位:円)

	13年	12年	11年	10年	09年	08年
韓国	4,000	4,400	6,000	1,000	0	7,000
中国	11,000	9,000	9,000	5,000	0	17,000
香港	11,000	12,000	17,000	5,000	0	21,000
台湾	11,000	12,000	17,000	5,000	0	21,000
グアム・サイパン	13,000	14,000	19,000	6,000	0	21,000
タイ・シンガポール・マレーシア	21,000	23,000	31,000	9,000	0	40,000
ハワイ・インドネシア	27,000	30,000	37,000	12,000	0	40,000
米国・欧州・中東・オセアニア	42,000	47,000	58,000	21,000	0	56,000

出発ピークは8月10日～11日

JTBの企画商品の予約状況によると、欧州は8/10(土)、ハワイや東南アジアは8/11(日)の出発が多い。近隣アジアでは8/15(木)前後の出発も少なくない。また、今年は9月に3連休が2回あることから、7月から8月を避け、価格の安い9月に遅い夏休みをとる人も多いようだ。

<調査方法>

調査地点: 全国200地点

調査実施期間: 2013年6月5日～17日

調査対象: 全国15歳以上79歳までの男女個人

サンプル数: 1,200名(1地点6名×200地点)

調査内容: 2013年7月15日から8月31日に実施する1泊以上の旅行

調査方法: 専属調査員による個別訪問調査(100%回収)

(表9) 2013年夏休み(7/15~8/31)海外旅行人数推計 (単位:万人)

	2013年 前年比		2012年 前年比		2011年
総数	260	5.8%	276	+6.2%	260
アジア合計	143.1	12.0%	162.6	+7.1%	151.8
中国	28.3	32.3%	41.8	2.3%	42.8
韓国	34.3	24.8%	45.6	+4.6%	43.6
台湾	16.6	2.4%	17.0	+18.9%	14.3
香港	9.5	14.4%	11.1	+2.8%	10.8
タイ	18.4	+29.6%	14.2	+39.2%	10.2
シンガポール	6.7	2.9%	6.9	+11.3%	6.2
インドネシア	5.2	+15.6%	4.5	6.3%	4.8
マレーシア	4.7	+20.5%	3.9	4.9%	4.1
(その他)	19.4	+10.2%	17.6	+17.3%	15.0
北米州合計	60.1	3.8%	62.5	+7.0%	58.4
ハワイ	22.8	+0.9%	22.6	+19.6%	18.9
グアム・サイパン	15.0	5.1%	15.8	+6.8%	14.8
米国本土	19.1	9.0%	21.0	2.3%	21.5
カナダ	3.2	+3.2%	3.1	3.1%	3.2
欧州合計	42.8	+15.1%	37.2	+2.8%	36.2
大洋州合計	9.7	+2.1%	9.5	+3.3%	9.2
オーストラリア	5.4	+0.0%	5.4	6.9%	5.8
ニュージーランド	1.1	+10.0%	1.0	+25.0%	0.8
南太平洋	3.2	+3.2%	3.1	+19.2%	2.6
その他 (アフリカ・中南米等)	4.3	+2.4%	4.2	+5.0%	4.0

*各国政府・観光局発表の日本人入国者数ならびに法務省統計から推計

(表10)利用宿泊施設(海外旅行を除く)

(複数回答)

	%	昨年差
ホテル	35.6	0.7
旅館	21.5	1.5
実家・知人宅	27.4	1.9
民宿・ペンション	10.3	4.4
その他	5.6	1.6

(表11)利用交通機関(海外旅行を除く)

(p.6 表6再掲)

(複数回答)

	%	昨年差
乗用車	64.0	0.6
*鉄道	26.2	0.6
JR新幹線	16.2	1.0
JR在来線・私鉄	15.5	0.5
飛行機	19.9	2.7
長距離バス・貸切バス	8.2	0.4
フェリー・船舶	2.3	1.2
その他	0.5	0.3

*乗用車にはレンタカー利用者を含む

*鉄道はJR新幹線とJR在来線・私鉄の重複回答者を除いてカウント

(表12)同行者 (p.4 表5再掲)

(単一回答)

	%	昨年差
家族づれ	65.2	1.0
子供づれ(中学生まで)	28.3	4.8
夫婦のみ	17.3	0.2
三世代	11.9	5.9
それ以外(母と娘など)	7.7	2.3
家族と友人・知人	9.8	2.1
友人・知人	13.3	1.6
団体(職場・地域など)	2.3	0.7
ひとり	5.4	1.3

(表13)国内旅行先

(単一回答)

	%	昨年差
北海道	6.1	0.6
東北	8.7	2.0
関東	19.9	0.1
甲信越	12.9	1.0
北陸	4.0	0.0
東海	9.6	0.2
近畿	10.5	1.0
中国・四国	7.3	0.8
九州	9.4	0.6
沖縄	3.5	0.5

(表14)旅行目的

	(複数回答)	
	%	昨年差
帰省、離れて住む家族と過ごす	21.3	0.6
温泉でゆっくりする	13.3	1.6
自然や風景を楽しむ	10.3	3.0
海辺で保養・海水浴	9.8	2.4
テーマパーク・レジャー施設	8.9	1.0
家族や友人との親睦	6.6	2.2
史跡や名所を見る	6.1	1.2
おいしいものを味わう	5.4	2.4
ハイキング・登山・キャンプ等	4.9	0.5
観劇・イベント参加・スポーツ観戦	2.6	0.7
高原で保養・避暑	2.3	0.3
クラブやサークルの旅行や行事	1.6	1.1
都会・都市で過ごす	1.4	0.0
リゾートでエステやスパ	1.2	0.5
ボランティアに参加する	0.5	--
その他	3.3	0.7

(表15)旅行日数 国内のみ

(p.3 表3再掲) (単一回答)

	%	昨年差
1泊2日	37.9	0.5
2泊3日	34.4	1.4
3泊4日	14.8	2.5
4泊5日	4.2	0.2
5泊6日	3.0	2.1
6泊7日	1.2	0.5
7泊8日	2.3	0.3
8泊以上	1.1	1.8

(表16)旅行に行かない理由

	(複数回答)	
	%	昨年差
休暇が取れない	29.2	0.7
特に旅行したいとは思わない	21.7	3.5
混雑する時期に旅行したくない	21.4	7.0
家計の制約	20.2	3.3
家の事情で離れられない	17.0	1.4
夏休み以外の時期に旅行する	16.3	0.1
暑い時期に旅行したくない	16.2	6.1
ペットがいるので家を離れられない	11.3	--
景気が悪い	10.5	2.9
家族等と休日が重ならず	9.3	0.8
旅行以外にやりたいことがある	5.6	0.0
家にいた方が楽しみが多い	5.4	0.5
旅行商品や交通等の値段が割高	4.8	2.0
希望する予約が取れない	1.0	0.3
残留放射能の影響が心配	0.4	0.4
節電で通常サービスが受けられない	0.1	0.5

(表17)今後の旅行支出に対する意向の変化 (調査月ベース) (p.2 表2再掲) ()は前回との差

	今回(2013年6月)	前回(2012年6月)	前回(2011年6月)
支出を増やしたい	16.6 (+0.2)	16.4 (+2.2)	14.2 (+0.3)
同程度	回数を増やし単価を減らしたい	13.3 (+1.1)	12.2 (0.3)
	回数を減らし単価を増やしたい	6.3 (+1.9)	4.4 (1.4)
	回数も単価も同程度	34.5 (2.5)	37.3 (+2.5)
支出を減らしたい	24.8 (2.1)	26.9 (3.3)	30.2 (+1.5)

* (表10)(表11)(表14)(表16)は、複数回答のため合計が100%を超え、それ以外は、無回答があるため合計100%にはなりません。

(表18)夏休みの旅行動向発表数値の推移

	旅行人数(万人)			旅行平均費用(円)		総消費額
	総数	国内旅行	海外旅行	国内旅行	海外旅行	(億円)
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
2000 (期間変更)	7,423	7,159	264	35,832	206,065	31,094
2001	7,562	7,296	266	35,115	210,149	31,210
	1.9%	1.9%	0.8%	2.0%	2.0%	0.4%
2002	7,612	7,369	243	33,654	213,091	29,978
	0.7%	1.0%	8.6%	4.2%	1.4%	3.9%
2003	7,535	7,347	188	33,923	222,893	29,113
	1.0%	0.3%	22.6%	0.8%	4.6%	2.9%
2004	7,490	7,242	248	34,975	208,851	30,509
	0.6%	1.4%	31.9%	3.1%	6.3%	4.8%
2005	7,604	7,365	239	35,300	214,600	31,128
	1.5%	1.7%	3.6%	0.9%	2.8%	2.0%
2006	7,657	7,410	247	35,716	223,100	31,977
	0.7%	0.6%	3.3%	1.2%	4.0%	2.7%
2007	7,662	7,420	242	36,200	232,000	32,474
	0.1%	0.1%	2.0%	1.4%	4.0%	1.6%
2008	7,571	7,348	224	35,800	249,000	31,884
	1.2%	1.0%	7.4%	1.1%	7.3%	1.8%
2009	7,353	7,128	225	34,300	212,300	29,225
	2.9%	3.0%	0.4%	4.2%	14.7%	8.3%
2010	7,669	7,427	242	35,500	222,100	31,741
	4.3%	4.2%	7.6%	3.5%	4.6%	8.6%
2011	7,524	7,264	260	33,260	227,300	30,070
	1.9%	2.2%	7.4%	6.3%	2.3%	5.3%
2012	7,736	7,460	276	33,730	231,400	31,546
	2.8%	2.7%	6.2%	1.4%	1.8%	4.9%
2013	7,884	7,624	260	35,010	243,200	33,016
	1.9%	2.2%	5.8%	3.8%	5.1%	4.7%

* 対象期間は7月15日～8月31日。

< 報道機関の方からのお問い合わせ先 >

JTB 広報室 03-5796-5833